

2019年度FIC オープンセミナー

山崎阿弥 講演会とワークショップ ～音を迎えるに～

「聞く」という行為は、概ね受動的な行為だと考えられています。音は、向こうからやってくるものだろう、耳に聴かれないのだから、と。でも、例えば、一手を伸ばすように耳を／聴覚を動かしてあなたから音を迎えるべく、手のひらにはめたグローブで飛んできたボールをキャッチするように音をつかまえる一音との関係を意識的に結び・解くことであなたを取り巻く世界は異なる姿を現します。私のパフォーマンスやインスタレーションは、そんな現象を起こすメディウムのようなものです。講演では具体的な作品の紹介や発声と聴取のメカニズムなどについてお話しし、ワークショップでは発声の訓練ではなく、聞く力や声の力の源を探るようなワークを予定しています。



江之浦測候所「冬至光遙拜」 Photo: 加藤拓

2019年6月19日(水)

講演会 10:40-12:20 薩埵ホール(外濠校舎6F)

ワークショップ 15:00-16:40 0300マルチメディア教室(ボアソナードタワー3F)

参加費無料、事前申込み不要

場所:法政大学市ヶ谷キャンパス 東京都千代田区富士見2-17-1

(JR・地下鉄各線の「飯田橋駅」または「市ヶ谷駅」から徒歩約10分)

企画:法政大学国際文化学部

インフォメーション:法政大学国際文化学部事務

03-3264-9345、jkokusai@hosei.ac.jp